もぞか

盆地のミニ情報

萩の花

９月号

編集・発行
熊日多良木販売センター
㈹小出堅太郎　小出忠紹
石田敏郎　尾前竜二　那須信一
球磨郡多良木町大字多良木 356-1
TEL ４２－３３５５
FAX ４９－１７２６
http://www.taragi.com/
当社のホームページ・ブログをご覧下さい

祝 金婚　苦楽をともに５０年

第５６回熊日金婚夫婦表彰伝達式

９月１１日に「熊日金婚夫婦表彰伝達式」が、多良木町は多目的研修センター、あさぎり町はポッポー館で開催されました。
今年は多良木町で２６組、あさぎり町岡原地区では９組のご夫婦が表彰されました。そこで、２組のご夫婦に５０年を振り返ってのお話を伺いました。

あさぎり町岡原北
瀬口　正利さん
君子さん

ご主人は以前建設会社にお勤めになられていて、現在でもベンチを作ったり、網戸の張替をされるなどこまごましたことも得意とされており、奥様は「とても助かります」と話されています。奥様は昭和４２年２月に理容店を開業され、理容師ならではのボランティア活動や、商工会などの役員をされてこられたそうで「大変な事もあったが、楽しかったことが多かった。いま思うと、とても勉強になりためになった」と、当時を振り返られています。
これからの目標や楽しみを尋ねると「長生きすること。また一緒に食事に行ければいいですね」と謙虚に答えられるお二人。「これまで来れたのも、皆様方の支えがあってこそ。社会に感謝しています。また妻には大変苦労をかけたが、今後２人で協力し合って、仲良く暮らしていきたいです」とご主人は話されています。

多良木町多良木
福田　多美男さん
多津子さん

福田夫妻は、アジア初の東京オリンピックが開催された昭和３９年に、多良木町の王宮神社にある「林風苑（現在は社務所）にて結婚式を挙げられました。熊本市内在住の頃は、情報も早く色々と勉強になられたそうですが、２度のオイルショックは、仕事柄大変だったそうです。球磨出身ということで焼酎を沢山飲まされたこともありおかげで大変強くなられたとか。これまでの一番の思い出は、二人で行ったハワイ旅行だそうです。これからは、周囲の方々に感謝しながら、二人して少しでも町の役に立てればと思いつつも、健康寿命を少しでも永く維持するように頑張りたいと話しておられました。

優勝おめでとう!!

９月２０日から山鹿市で開催された、第６９回県民体育祭で、あさぎり町岡原の深松勇貴さん（２５歳）が、陸上競技・４００M（２９歳以下）で見事優勝されました。深松さんは、上球磨消防署勤務後、週５日の合同練習会に参加し、本大会での総合２４連覇（球磨郡男子）に貢献されました。中学時代から本格的に陸上競技をスタートされ、現在も現役のスプリンターとして活躍されています。「まさか自分が優勝するとは思わなかった。運が良かったかな」と深松さん。また同日行われた４００Mリレー（２９歳以下）の部でもアンカーを務め、３位と好成績を残されました。「来年は是非個人連覇を狙えるよう練習します」と、力強く来年への決意を語ってくれました。今後の活躍に期待します。

生活単元学習　「不思議発見 ～ごみのリサイクルをしよう～」

中学部では普段何気なく捨てているごみに注目し、リサイクルについて学びました。まず、水俣市の熊本県環境センターから講師の方をお招きし、ごみ問題とリサイクルについて話を聞きました。一人当たりが、１日に出すゴミの量は約１ｋｇであることの紹介など、生徒は驚いた表情でした。毎回、学習の始まりには「ごみの分別」に取り組み、可燃物と不燃物、また資源ごみの分別を行いました。この学習を通してアルミやスチールなどの資源マークにも注目して分別することができました。さらに不要となった布を使った「裂き織り」、不要となった紙とえんぴつの芯を使った「鉛筆」作り、牛乳パックを使った「油とり紙」作りにも取り組みました。様々なリサイクル体験を通して、環境・リサイクルについて考える良い機会となりました。
今回のこの体験を各家庭での生活に生かしていきたいと考えています。

（原稿・写真提供：球磨支援学校）

木希記

◆庭の一隅にクリーム色のヒガンバナが咲きました。黒っぽいブロック塀との対比がいいなと眺めていたら、１週間後に赤い花が追いかけるように開花しました◆雨が多く、例年ほど暑くならなかった今年の夏でしたが、秋分の日が近づくと、改めて季節の移ろいを伝えてくれる花たち。人智を超える動植物の本能的な仕組み、不思議さは、ただただ感動ものです◆本欄でも何回か触れていますが、近年の荒っぽく、不安定さが増した天候。今夏も熊本市など、それほどでもなかったのに、球磨地方では記録的短時間と形容詞がつく大雨情報が何度も出されました◆雨が多く、冷夏の傾向にあったというのは、お日様が顔を出すのが少なかった、日照不足だったことを意味します。農作物への影響が心配されましたが、今月に入り少し持ち直したようで、一安心された方もおられましょう◆広島や東北、北海道などの豪雨被害も記憶に新しいところです。例年、大型の台風に襲われるのも月末から来月にかけて。平凡ですけれど、普段の心構えが一番ですね。（X）

たらぎ文化財カルタ vol.17

「長運寺」（県・県・町指定）　　黒肥地　小川

長運寺薬師堂は、鎌倉時代には鍋城にあり、正平 22 年（1367）年に火災に遭い消失しましたが、弘和３年（1383）に現在地に移し再興されました。堂の屋根は寄棟造り茅葺き、4.8m 四方で円柱を用いてあり、組み物のない簡素な建物で、よく時代の特色を示しているといわれます。定院を結ぶ「木造薬師如来坐像」は、寄木造りで、鎌倉時代の作と推定されます。また、この薬師像の厨子は宮殿風の様式で彫刻、彩色ともに室町時代のものと認められ、精巧な彫作でこの地域でも珍しいものです。堂の側には、仮堂に収められてた文亀１年（1501）建造の西光寺厨子があり、厨子としては特に貴重な文化財といえます。なお、この寺院に安置されていたという釈迦如来坐像は、平安後期の彫作といわれ県下でも銘入り最古の仏像です。

町内の小学生が集団宿泊

第１２回えびすっ子ステイ（主催：多良木町青少年育成会議、松下正壽会長）が多良木高校のセミナーハウスで９月２３日から２７日迄の４泊５日の日程で３６名が参加して行われました。この行事は多良木町青年団の協力がないとできないもので「家庭を離れた児童が炊事・洗濯・掃除に挑戦しながら、異年齢、他校の子供たちと団体行動、集団生活することによって、自信を高める」ことが目的です。初日の夕食は、オリジナルのカレー作りを各班ごとに分かれて、買い物から調理までの全てを児童たちでやりました。また、２４日は多良木小学校が代休だったため、多小の児童は多良木町文化財カルタをしたり、黒の蔵の見学にも行きました。瀬戸山心香さん、浦田星奈さん、那須麗海さんは、パークドームで行われる、熊本人権子ども集会で発表するセリフを、学習タイムの時間に練習していました。

多くの人で賑わった「福祉まつり」

今月７日に「第１３回たらぎ社協福祉まつり（主催：多良木町社会福祉協議会）」が、多良木町多目的研修センターで開催され、過去最多の４００名以上の来場があり賑わいました。記念式典では９０歳（卒寿）者への記念品贈呈が行われ、同町では今年７２名が卒寿を迎え、その内１７名が同会会長の松本照彦・多良木町町長から記念品を受け取りました。当日はむつみ保育園ばら（年長）組による遊戯の発表でオープニングを迎え、皆さんが楽しみにされていた「歌と踊りの祭典」では、まず地元オカリナグループ「遊」による「翼を広げて」などを含むオカリナ演奏がありましたが、澄み渡る音色に聴衆は聞き入りました。またゲストが２組あり、同町慈願寺住職那須弘紹さんと湯前町の明導寺住職藤岡教顕さんによる、お盆のエピソードを語った漫才。会場を爆笑の渦に引き込み、熊本県ならではの習わし「目覚まし」の意味などを説明された法話では、改めてその意味を教えて頂きました。二組目は国内でも数少ないプロの女流邦楽演奏家であり、また日本舞踊の指導者でもある中村花誠さん（熊本市出身）が結成・指導されてきた、子ども演奏舞踊団「ザ・わらべ」の踊りと、西村直子さん（熊本市出身）による歌の披露があり、会場中がその素晴らしい演技と歌声に魅了されました。

今年卒寿を迎えられた渡辺春敏さん（多 8-1 区）は、普段からグラウンドゴルフや犬の散歩、野菜作りなどを通じて、健康維持に努められてこられましたが「今日は沢山のお客さんがあって賑わって良かった。特に保育園児の遊戯が可愛くて良かった。他の保育園の遊戯なども見てみたい」と目を細めておられました。

多良木警察署だより

交通事故形態別の注意事項

最近多い交通事故形態についてまとめました。
運転時は周囲の安全確認を確実に行い、交通事故防止に努めましょう !!

1　*追突事故*
停車中の車両に追突する事故が多発中 !!
わき見厳禁 !! 前方の安全確認を確実に !!

2　*駐車場内で後退中の事故*
後方の安全確認を確実に !!

（原稿提供：多良木警察署）